

決断突破、
解決力。



いのせなおき

前東京都
副知事

猪瀬直樹

東京を輝く都市に。

自助・共助・公助で、ひとりひとりが輝く首都を!

年齢を重ねた人が若い人に知恵を伝え、また若い人が年齢を重ねた人へと新しい情報
をもたらす。強者が弱者を、余裕のある人がない人を扶ける。健全者が障害のある人
を扶け、女性が働きやすい職場をつくる。互いに助け合う東京をみんなで作ろう。

東京を輝く都市に。 自助・共助・公助で、ひとりひとりが輝く首都を!

電力エネルギー改革

東京発の電力エネルギー改革を力強く進め、低コストで安全、クリーンな電力供給のために全力を尽くします。東京湾でフル稼働している老朽火力発電所を最新鋭の天然ガス火力に置き換えます。島嶼部では、地熱・太陽光・風力などの活用を図ります。

地下鉄改革で暮らしを便利に

地下鉄を一元化します。東京メトロと都営地下鉄を隔てる「壁」を取り払う「サービス統合」は、すでに始まっています。さらに経営統合を視野に、不便な乗り継ぎを解消し、混雑を緩和し、バリアフリー化を進め、運賃を値下げするため国と戦います。トンネル内での携帯メール送受信も、今年度中に全線で可能にします。

教育再生と子育て支援

周産期医療およびリスクの高い小児医療の充実を図ります。保育所の東京モデル「認証保育所」に対して国の補助を拡充させ、子育てしながら働く女性を応援します。「言葉の力」再生プロジェクトを進め、こどもの思考力を高めます。「生きる力」「支え合う力」を教育再生の基本とします。若い人たちのシェアハウスなど共生の場を重視します。

「安心都市」実現

副知事として発案した高齢者の「ケア付き住宅」は、「住宅か施設か」という従来型二者択一でない新しい発想でスタートし、2012年度で4500戸を実現。来年度を念頭に、早期に1万戸を目指します。「東京ER」体制を進め緊急医療ネットワークを充実し、24時間の安全を確保します。

雇用を守る

国所管のハローワークに独占された職業紹介機能を東京に移管させ、就職先マッチングとすでに東京が行っている職業訓練をひとつの流れにします。高齢者や女性、若い人たちの雇用機会を増やします。中小企業と若者のマッチングも進めます。さらに高専に海外インターンシップを導入、ものづくり教育を強化します。

羽田空港国際化

国際線発着枠は現在3万回。2014年春には6万回に増えますが、リムジンバスの拡充で深夜早朝時間帯(23時～6時)の空港アクセス利便性を高めて、欧米便枠を含め、これを9万回まで拡張します。また羽田周辺に新産業を集積する「情報基地」構想を進めます。暮らしを便利にし、同時に海外からビジネスと雇用を呼び込みます。

オリンピックを招致

2020年東京オリンピック・パラリンピックを招致し、この国の閉塞感を突破します。来秋に多摩・島嶼部で開催される「スポーツ祭東京2013」は、国体と障害者スポーツ大会を同時開催し、多様なスポーツの裾野を広げます。11月2日、東京マラソンがボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークと並び六大メジャーマラソンに認定されました。緻密な運営能力に加え1万人のボランティアと170万人の沿道の観衆の力です。まさに人が輝いたからです。都民の健康増進により、医療費の負担を減らし福祉の充実にあてます。

「東京都・発」ビジネスを

東京の知的蓄積・ビジネスの蓄積を成長戦略に結び付けます。都内に集積が進むコンテンツ産業をはじめ、先端的なものづくりや東京発ベンチャーを支援します。低漏水率世界一である東京水道や技術力のある中小企業の海外進出をバックアップし、アジアの諸都市との連携を強化します。南鳥島近海のレアアース資源開発を支援します。

首都直下型地震への備え

帰宅困難者対策条例を制定し、72時間分の食料備蓄を、民間企業に義務づけました。木造密集地域の不燃化、緊急輸送道路沿道の建築物耐震化を加速し、首都高などインフラの老朽化対策を急ぎます。東日本大震災では、ツイッターによる機敏な情報収集で、気仙沼中央公民館に孤立した住民を都が救いました。こうしたSNS活用をさらに進め、震災対策だけでなく、さまざまな施策に生かします。

TH!NK TOKYO
決断、突破、解決力。

平成24年12月執行
東京都知事選挙
第6号
東京都選管